

舗装の個別施設計画策定

令和元年5月

福岡県 宮若市

目 次

1. 舗装の現状と課題

- 1.1 管理道路の現状
- 1.2 舗装の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

- 2.1 舗装管理の基本方針
- 2.2 管理道路の分類（グループ分け）
- 2.3 管理基準
- 2.4 点検方法・点検頻度

3. 計画期間

- 3.1 計画期間

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

- 5.1 診断結果
- 5.2 対策内容と実施時期

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

(1) 管理延長と舗装延長

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		A s 舗装	C o 舗装	
1 級市町村道	66.06 k m	63.39 k m	0.03 k m	96.00%
2 級市町村道	46.25 k m	45.00 k m	0.02 k m	97.34%
その他市町村道	356.40 k m	287.84 k m	3.32 k m	81.69%
計	468.71 k m	396.23 k m	3.37 k m	85.25%

1.2 舗装の現状

平成25年度において、宮若市が管理する1・2級市道及びその他市道のうち、主要路線の約113.4kmを対象に道路ストック総点検にて路面性状調査を実施し、舗装劣化の状況を把握しました。

なお、路面性状調査を行っていないその他市道については、職員によるパトロール等での点検を行いながら、必要に応じた修繕等を行っています。

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を目指します。

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

- ・大型車交通量、路線の重要度等を踏まえ分類

分類	対象道路
分類Cの道路	1級市道、2級市道
分類Dの道路	上記以外の市道

2.3 管理基準

路面性状測定車で測った「ひび割れ率」「わだち掘れ量」「平坦性(IRI)」から「MCI 値(維持管理指数)」を算出する。

MCI 値	評価	診断結果
5.0 超 (A1 A2)	望ましい管理基準	区分Ⅰ
5.0 以下 (B)	修繕を行うことが望ましい	区分Ⅱ
4.0 以下 (C)	修繕が必要である	区分Ⅲ
3.0 以下 (D)	早急に修繕が必要	

2.4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類Cの道路	路面性状測定車 又は目視点検	5年に1度程度
分類Dの道路	巡視の機会を通じた路面状況把握	

3. 計画期間

3.1 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は、令和元年度から令和3年度末までの3ヶ年とします。

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定する。

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

平成25年度に点検した113.4kmの診断結果は以下のとおり

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ
分類Cの道路	56.9km	18.1km	36.7km
分類Dの道路	0.5km	0.7km	0.5km

区分Ⅰ（健全 - 損傷レベル小）A1～A2

区分Ⅱ（表層機能保持段階 - 損傷レベル中）B

区分Ⅲ（補修段階 - 損傷レベル大）C～D

5.2 対策内容と実施時期

路面性状調査完了箇所については、調査結果に基づいて舗装の修繕が効率的に実施されるように、土質調査を行い、その路線に最も適した対策を決定します。

また、今後も巡視による路面状況の把握を行いながら必要に応じて事業を導入し、引き続き修繕を行っていきます。